

# リーダーになる!

実践する上司学。

嶋津良智による、よきリーダー、上司になるための必読コトバム。



嶋津良智 ■ リーダーズアカデミー学長。早稲田大学講師。大学卒業後、IT系ベンチャー企業に入社、トップセールスマンとなり、24歳で最年少営業部長に就任。1993年に独立、起業。94年に共同で情報通信機器販売の新会社を設立。2004年にIPOを果たす。05年に教育機関、「リーダーズアカデミー」を設立。

## 第41回 デキる社員の6力条

デキる部下(社員)には「物事を考える力」「素直さ」「好奇心」「負けず嫌い」「責任感」「行動力」といった、六つの素質や能力が備わっています。

わたしは経営のアドバイザーをする関係上、多くの社長と話す機会があります。彼らと話す中で、実績を出す社員には、六つの共通項があるという結論に達しました。

### ①物事を考える力

思考力とも言えるでしょうが、とにかく考える力が優れているということですね。難しいことをやさしく、浅いことを深く、つまらないことを面白く考える能力

### ②素直さ

武道の世界には「守・破・離」という言葉があります。まずは素直にまねる(教えを守る)ところから始め

### ③好奇心

向上心とも言え換えら

### ④負けず嫌い

実世界は競争社会です。「自分に負けない」「あいつに負けたくない」「誰にも負けたくない」という思いが、人を成長させるエンジンになるとわたしは考えています。

### ⑥行動力

知識と行動の間には深い溝があります。分かっているのにやらない人が多い中で、できる人は「行動が成果を変える」という大原則に従い、決断してからの行動が早いです。

### ⑤責任感

責任感が強い人というのは、物事を途中で投げ出したり、逃げたりしないものです。目標を達成するまで



以上の六つの能力が部下にあるか、その能力を育てているか考えましよう。(『上司のルール』より転載)